

千葉県自動車盗難等防止対策協議会総会を開催

～認知件数減少も油断せず、取組みを推進～

日本損害保険協会関東支部千葉損保会（会長：坂井 泰生・三井住友海上火災保険株式会社 千葉支店長）が事務局を担っている千葉県自動車盗難等防止対策協議会（会長：出野 祥平・千葉県自動車販売店協会 会長／一般社団法人 日本自動車販売協会連合会千葉県支部 支部長）では、10月20日（月）に「ポートプラザちば」で2025年度千葉県自動車盗難等防止対策協議会総会を開催しました。

今回、2023年中における千葉県の自動車盗難の認知件数が全国ワースト1位となり、その後、減少傾向にあるものの、2024年は全国ワースト3位、本年8月末時点で全国ワースト6位と未だ予断を許さない状況であることから、昨年に引き続き対面での総会開催を実施し、千葉県警察本部、千葉県、自動車関係団体など当協議会会員機関・団体から28名が出席しました。

当日は、冒頭に千葉県自動車販売店協会の高橋専務理事から当協議会を代表して、開催の挨拶があり、次いで、参与を代表して、千葉県警察本部 生活安全部 鈴木参事官から挨拶がありました。

次いで、千葉県警察本部 刑事部 捜査第三課 村永課長補佐より、「千葉県における自動車盗難の現状について」と題して、県内の情勢報告があり、自動車盗難の撲滅に向け、実行犯の検挙とともに、ヤードの取り締まりも併せて実施している旨説明がありました。

最後に、昨年度の活動報告と今年度の活動方針が決議され、改めて、今年度も会員が一丸となって千葉県における自動車盗難等の防止に向けた取組みを推進していくことを確認しました。

千葉損保会では、当協議会の事務局として、引き続き、千葉県警察本部等と連携し自動車盗難防止対策の周知と自動車盗難件数の減少に向けた活動を推進してまいります。



総会の様子



情勢報告の様子